

みのり高等学校 通信教育実施計画書

教科・科目	必履修	単位数	教科書	副教材
数学C		2	東京書籍「数学C Standard」	
評価方法	添削指導(計6回), 試験(年2回), 面接指導(年2回)での評価			

指導目標

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに、数学と社会生活の関わりについて認識を深め、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
- (2) 大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力、図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力、数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を養う。
- (3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。離散的な変化の規冊歐に着目し、事象を数学的に表現し考察する力、確率分布や標本分布の性質に着目し、母集団の傾向を推測し判断したり、標本調査の方法や結果を批判的に考察したりする力、日常の事象や社会の事象を数学化し、問題を解決したり、解決の過程や結果を振り返って考察したりする力を養う。

[評価の観点]

【主体性】

- ・数学のよさを認識し数学を活用し、粘り強く考え数学的論拠に基づき判断している。
- ・問題解決の過程を振り返って考察を深めている。

【知識・技能】

- ・ベクトル、平面上の曲線と複素数平面についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。
- ・数学的な表現の工夫について認識を深めている。
- ・事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている。

【思考・判断力・表現力】

- ・大きさと向きをもった量に着目し、演算法則やその図形的な意味を考察する力を身に付けている。
- ・図形や図形の構造に着目し、それらの性質を統合的・発展的に考察する力を身に付けている。
- ・数学的な表現を用いて事象を簡潔・明瞭・的確に表現する力を身に付けている。

単元名	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画(実施内容)
第1回 提出期限 5月15日	◆ベクトル	1 平面のベクトル 2 ベクトルの分解 3 ベクトルの成分	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの意味、相等、和、差、実数倍、ベクトルの平行及び単位ベクトルについて ・ベクトルの分解とその一意性について ・ベクトルの成分表示について
第2回 提出期限 6月16日	◆ベクトル	1 ベクトルの内積 2 位置ベクトル	<ul style="list-style-type: none"> ・ベクトルの内積の意味やその基本的な性質について ・平面上の点の位置ベクトルについて

第3回	◆ベクトル	<ol style="list-style-type: none"> 空間のベクトル 空間座標 空間のベクトルの内積 位置ベクトルと空間の図形 	<ul style="list-style-type: none"> 空間におけるベクトルの定義や平行条件、ベクトルの分解とその一意性について 空間座標の概念及びその意味や表し方について ベクトルの加減や実数倍などの演算の表し方について 空間のベクトルの内積について <p>■前期単位認定試験【7月】(3年) ■前期単位認定試験【9月】(1,2年)</p>
提出期限 7月15日			
単元名	単元名	指導項目・概要	スクーリング実施計画(実施内容)
第4回	◆2次曲線	<ol style="list-style-type: none"> 放物線, 楕円, 双曲線 2次曲線と平行移動 2次曲線と直線 	<ul style="list-style-type: none"> 放物線, 楕円, 双曲線の定義とその方程式について 2次曲線を平行移動して得られる曲線の方程式について 2次曲線と直線の共有点について
提出期限 10月15日			
第5回	◆複素数平面	<ol style="list-style-type: none"> 複素数平面 複素数の極形式 ド・モアブルの定理 	<ul style="list-style-type: none"> 複素数平面上の点について 複素数の積・商と複素数平面上の回転移動との関係について ド・モアブルの定理について
提出期限 11月14日			
第6回	◆複素数平面	<ol style="list-style-type: none"> ド・モアブルの定理 2直線のなす角 複素数平面上の図形 	<ul style="list-style-type: none"> ド・モアブルの定理を用いて$z^4=1$の解を求めることについて 偏角を用いて, 複素数平面上の2直線がなす角の大きさが求めることについて 内分点や外分点, 円, 軌跡を, 複素数を用いて表現することについて <p>■後期単位認定試験【12月】(3年) ■後期単位認定試験【1月下旬～2月上旬】(1,2年)</p>
提出期限 12月15日			